

四條畷市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画検討委員会 議事録

開催日時	令和 7 年 11 月 6 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 2 時 35 分
開催場所	四條畷市市民総合センター 3 階 視聴覚室
出席者委員	宮田委員、北口委員、小林委員、吉川委員、荒木委員 福田委員、藤谷委員、真壁委員、小宮委員、小寺委員
欠席者	安田委員、小玉委員、浅田委員
事務局	西端課長、西條課長、小川課長代理、倉本主任、萩原主任、有馬主任 委託業者：株式会社サーベイリサーチセンター片山氏
案件	案件 1 解職に伴う新たな委員の紹介 案件 2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票の内容について 案件 3 在宅介護実態調査 調査票の内容について 案件 4 その他行政からの連絡事項
資料	資料 1 会議次第 資料 2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票（案） 資料 3-1 在宅介護実態調査 調査票（案） 資料 3-2 厚生労働省 在宅介護実態調査 調査票（参考）

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、只今から四條畷市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画検討委員会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の司会を務めさせていただく高齢福祉課の西端と申します。</p> <p>本日の会議の成立について、報告させていただきます。</p> <p>本日は四條畷市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画検討委員会委員 13 名中 10 名がご出席でございます。</p> <p>四條畷市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画検討委員会規則第 3 条第 2 項の規定により、過半数のご出席をいただいておりますので、会議は成立いたしますことを報告いたします。</p> <p>続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。</p> <p>健康寿命延伸担当課長の西條でございます。</p>
事務局	西條でございます。よろしくお願いいたします。
事務局	課長代理の小川でございます。
事務局	小川でございます。よろしくお願いいたします。
事務局	主任の倉本でございます。
事務局	倉本でございます。よろしくお願いいたします。
事務局	主任の萩原でございます。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	萩原でございます。よろしくお願いいたします。
事務局	主任の有馬でございます。
事務局	有馬でございます。よろしくお願いいたします。
事務局	<p>最後に、改めまして、私が高齢者福祉課長の西端でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本計画の策定業務を市が委託しております株式会社サーベイリサーチセンターの片山さまにもご出席いただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議の公開・非公開につきましては、令和５年度の第１回目の会議におきまして本検討委員会については非公開とする理由がないため、次回以降も含めて公開することが決定しております。</p> <p>また、会議録において、作成後にホームページ上で公開することが決定しておりますので、本日の会議においても録音させていただき、作成にあたっては委員長に一任いただきたいと存じます。</p> <p>それでは、これ以降の議事の進行につきましては、小寺委員長にお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
小寺委員長	<p>皆さんこんにちは。委員長の小寺でございます。それでは、早速となりますが会議を進行させていただきます。お手元の会議次第に沿いまして、会議を進めてまいりたいと思います。</p> <p>案件１の「解職に伴う新たな委員の紹介」について事務局から紹介をお願いいたします。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	<p>異動による解職に伴い、新たな委員の紹介をさせていただきます。</p> <p>福祉関係団体の代表者として、社会福祉協議会からご推薦いただきました、安田委員でございます。委嘱期間は四條畷市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画検討委員会条例第4条第1項により、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とすると規定されていることから、令和8年2月28日までとなります。</p> <p>説明は以上となります。</p>
小寺委員長	<p>続きまして、案件2の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票の内容について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>小川より説明させていただきます。</p> <p>令和9年度からの3か年の計画である、第10期の高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定にあたり、アンケート調査を11月下旬～12月に実施する予定としております。介護予防日常生活圏域ニーズ調査ですが、市内の要支援、総合事業対象者及び一般高齢者を対象に2,500件程度、郵送で実施する予定です。調査票の内容につきましては、国より示されている内容に加え、市の独自内容を追加予定としてアンケート調査票を作成いたします。</p> <p>また、令和6年1月に施行されました認知症基本法により、市町村で「認知症施策推進計画」の策定が必要となったことから、第10期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に含めた形で作成したいと考えており、アンケートに認知症に関する質問を追加させていただいております。このあと、策定業務委託事業者であるサーベイリサーチセンター片山さまより、アンケート内容の詳細のご説明をさせていただきます。</p>
事務局（サーベイ）	<p>サーベイリサーチセンターの片山と申します。今回、お手元に配布させていただいた四條畷市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票、資料の2-1をご確認ください。こちらが今回、市で実施する介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>の調査票案となります。</p> <p>表紙につきまして、趣旨、目的、記入に際しての注意点等を記載しております。</p> <p>1 ページ目、個人情報の取り扱いについて記載をしております。また、回答日の記入、回答者について記述をしていただく項目を設けております。そして、日常生活圏域ニーズ調査ということで、圏域別の分析が必要となるため小学校区を記入していただくことを考えております。</p> <p>それでは、調査票の内容をご説明させていただきます。</p> <p>2 ページ目、先程ご説明があったように日常生活圏域ニーズ調査につきまして、国からモデル調査票が出ております。そのため、国のモデル調査票通りに実施する必要があります。問1からは国のモデル調査票の通りとなっており、(4)の網掛け箇所については、必要と判断した項目を加えております。</p> <p>問1「あなたのご家族や生活状況について」</p> <p>ご本人の性別、年代、家族構成等の属性を問う設問となっております。</p> <p>3 ページ目、問2「からだを動かすことについて」</p> <p>日常生活動作（ADL）について判定をするための項目を設けております。4 ページ目の外出の機会、移動手段等につきましても、ADLの状況を問う設問となっております。</p> <p>5 ページ目、問3「食えることについて」</p> <p>固いものが食べられるかどうか、身長や体重を記載いただく設問となっております。</p> <p>6 ページ目、問4「毎日の生活について」</p> <p>物忘れや買い物の可否等、社会生活の状況を聞かせていただいております、7 ページ目の途中まで項目を設けております。</p> <p>7 ページ目、問5「地域での活動について」</p> <p>グループでの参加状況や地域活動に対する参加頻度を答えていただく設問を項</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>目別に設けております。</p> <p>8 ページ目では、地域活動へ参加していない方へ向けての設問となっております。参加意向や地域包括支援センターの認知状況の項目を設けております。</p> <p>同じく、8 ページ目、問 6 「就労について」</p> <p>今回、新たに国のモデル調査票で追加された設問になります。国のモデル調査票の変更点については問 6 のみとなっております。</p> <p>同じく、8 ページ目、問 7 「たすけあいについて」</p> <p>心配事や看病に関することを次の 9 ページ目まで項目を設けております。</p> <p>10 ページ目、問 8 「健康について」</p> <p>回答者の現在の健康状態や、幸福度を 0 点の「とても不幸」から 10 点の「とても幸せ」といった 10 点満点の点数で答えていただく項目を設けております。こちらの各設問は、健康状態や疾病に関してお伺いする内容となっております。</p> <p>11 ページ目が新たに追加した設問となっております。問 9 「認知症について」ですが、前回調査でも記載していた項目がございます。（４）認知症に関する相談窓口の認知状況、（５）相談窓口として知っているところ、この 2 項目を記載しておりました。その他の設問につきましては、今回新たに追加した設問となっております。まず（１）認知症について知っていることですが、病気に対する認知状況を問う設問となっております。（２）認知症の症状の有無について。12 ページ目につきましては、認知症サポーター養成講座の認知状況、それから、認知症の人に対する支援で必要なことといった項目で、今回の認知症施策推進計画の策定が義務づけられたということで、計画の中に反映するために施策の状況等を聞いている内容となっております。</p> <p>13 ページ目、問 10 「加齢性難聴について」</p> <p>こちらも前回調査で市の独自項目で記載させていただいておりました。また、問 11 「終活について」も前回調査で市の独自項目で記載したもので、前回比較ができるよう今回調査でも項目を設けております。</p> <p>14 ページ目、問 12 「高齢者施策について」</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>こちら市独自の項目ということで、前回と同じ項目、選択肢で 15 ページ目まで記載をしております。</p> <p>最後の 16 ページ目の（２）情報収集や情報伝達のために所有している情報通信機器について、新たに市の追加項目ということで設けております。</p> <p>ニーズ調査の説明について、以上となります。</p>
小寺委員長	<p>ただ今の事務局からの説明を受けまして、何かご質問はございませんでしょうか。</p>
A 委員	<p>こちらの調査は全員が対象ではありませんか。</p>
事務局	<p>大体 2,000 人程の抽出を検討しております。以前も 2,000 人程を無作為に選ばせていただきましたので、今回も 65 歳以上の高齢者で要介護がない方を対象に郵送いたします。要介護の方を対象としたアンケート調査票は別で用意させていただきます。</p>
A 委員	<p>認知症の方が全て記入するのは大変難しいと思います。ご家族の方が代筆することも可能とは思いますが、設問によってはご本人しか分からない内容も含まれていると思います。そういったところを踏まえた上で上手く項目を設けていただけたらいいと思います。</p>
事務局	<p>承知いたしました。ボリュームについては前回調査と同じで、大体 6 割程ご回答をいただいている状況でした。</p>
B 委員	<p>市に在住する 65 歳以上の高齢者が対象ということですが、何人中の 2,000 人が対象となりますか。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	14,000～15,000 人の内の 2,000 人となります。
小寺委員長	<p>その他、ご質問はありませんか。</p> <p>それではお諮りいたします。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票の内容について、事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし
小寺委員長	続きまして、案件 3 の「在宅介護実態調査 調査票の内容について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<p>在宅介護実態調査票の内容についてご説明いたします。</p> <p>こちらにつきまして、市内の要介護認定を受けておられる方を対象に 1,400 件程度抽出し、こちらで郵送で実施する予定です。</p> <p>調査票の内容につきまして、片山さまよりご説明をお願いします。</p>
事務局（サーベイ）	<p>市の調査票案が資料 3-1、そして、国のモデル調査票が資料 3-2 となっております。資料 3-1 をご説明させていただきます。</p> <p>表紙をご確認いただくと、右上に番号削除と記載がございます。通常は整理番号を記載いたしますが、今回は個人を特定しないよう番号を削除する方向で進めてまいります。ニーズ調査と同様、趣旨、目的等を記載しております。</p> <p>1 ページ目をご確認いただくと A 票と記載がございます。こちらは要支援、要介護の認定を受けられたご本人に対しての調査内容となります。設問について、前回調査と変更点はございません。国のモデル調査票が全て前回通りとな</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>っております。また、国の見える化システムへの登録もございますので、選択肢含め、内容が変更しづらいといったところもございます。従って、前回調査と変更なしで調査票を作成させていただいております。</p> <p>問 1 から問 7 にかけて、ニーズ調査同様、属性の部分となっております。</p> <p>2 ページ目では、それぞれのサービスの利用状況について項目を設けております。</p> <p>3 ページ目では、利用していない方に向けての項目となっており、サービス利用をしていない理由を問う設問と介護保険サービス以外のサービス利用の状況について問う設問となっております。</p> <p>4 ページ目では、難聴の問題と終活の問題となっており、ニーズ調査と同様の項目を設けることで比較分析ができるようになっております。</p> <p>5 ページ目では、認知症に関する追加項目で、問 21「認知症の症状の有無」について問う設問がございます。</p> <p>6 ページ目では、認知症の方に対する施策で必要なことを問う設問となっており、ニーズ調査と比較できるようなかたちで設けております。</p> <p>7 ページ目では、高齢者の福祉施策について問う設問となっており、ニーズ調査の設問と同様に在宅介護調査でも項目を設けております。</p> <p>8 ページ目から B 票となっており、介護者に対する設問となっております。こちらは家族介護者向けとなっており、ご家族の方が記入していただく設問となっております。こちらも前回と変更はございません。前回調査と同じ項目を設けております。問 1 では、「介護を主な理由として仕事を辞めた方の状況」を問う設問となっております。</p> <p>9 ページ目では、介護者の家族構成や性別等の属性の項目を設けており、問 5 は介護の内容について問う設問となっております。</p> <p>10 ページ目、問 7「介護者の現在の勤務形態について」</p> <p>フルタイムで勤務されているか、パートタイムで勤務されているか、または働いていないかを問う設問となっております。以前、介護離職の問題がありましたが介護を理由に離職された方について、このあたりから抽出を行いたいと</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>考えております。</p> <p>11 ページ目にかけて、働いている方に対しての勤務状況を問う設問となっております。</p> <p>在宅介護実態調査票の内容は以上となります。</p> <p>レイアウトについて、きちんと整理をさせていただき調査票としてかたちを固めてまいります。</p> <p>以上、よろしくお願いいたします</p>
小寺委員長	<p>ただ今の事務局からの説明を受けまして、何かご質問はございませんでしょうか。</p>
事務局（補足）	<p>補足をさせていただきます。</p> <p>こちら、要介護認定がある方に対して無作為抽出を行いますが、件数がニーズ調査よりも減っており、前回で 1,400 件程送らせていただいています。ニーズ調査では回答率が 62.4%でしたが、在宅介護実態調査は 49.3%と数字が下がっている状態です。以上です。</p>
小寺委員長	<p>その他、ご質問はありませんか。</p> <p>それではお諮りいたします。在宅介護実態調査 調査票の内容について、事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
小寺委員長	<p>続きまして、案件 4 のその他行政からの連絡事項について</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	<p>有馬より２点ご説明させていただきます。</p> <p>１点目に今後のスケジュールにつきまして、本日ご審議いただきました調査を１１月末～１２月中旬に実施し、１月中に集計を行います。調査結果と第９期計画の分析を行い、今年度第２回目の策定委員会を３月に実施させていただく予定です。</p> <p>２点目ですが、令和８年２月末をもちまして、現計画策定委員のみなさまの委嘱期間が終了となりますので、ホームページ等で公募をかけるとともに、各関係団体へ推薦の依頼等をかけさせていただきますので、あわせてご協力のほどよろしくお願いします。以上です。</p>
小寺委員長	<p>ただ今の事務局からの説明を受けまして、何かご質問はございませんでしょうか。</p>
小寺委員長	<p>それでは、本日の議案はすべて終了いたしました。以上をもちまして本日の審議を終了とさせていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>